

教育目標

正しく判断し ねばり強く実践する 心豊かでたくましい生徒の育成

自ら学ぶことのできる生徒
自ら生活を正すことのできる生徒
自ら心のみがき体を鍛える生徒

の育成をめざす。

努力目標

- 1 学力の向上
- 2 安全と体力づくり
- 3 人権・同和教育
- 4 生活習慣と規律
- 5 不登校問題

努力目標実現のために

- (1) 教科・道徳・特別活動・総合的な時間の充実
 - ・指導方法の工夫改善により、基礎・基本の定着を図る
 - ・生徒の興味、関心に応じた学習内容の充実を図る
 - ・少人数授業やチームティーチングを実施しきめ細やかな指導を図る°
 - ・「目標に準拠した評価」による「観点別学習状況の評価」や「評定」に取り組む。
 - ・規律を守り、正しい判断に基づく、責任ある行動をとる道徳的実践力を身につける指導を行う。
 - ・地域の自然や文化、人材を活用生かした体験的学習や問題解決力を身につけさせる総合的な学習を進める
 - ・特別支援学級への共通理解と支援の方法の充実を図るとともに、研修を深める。
- (2) 安全と体力づくり
 - ・自己の健康に留意し、心身を鍛える態度を身につけさせる。
 - ・交通安全指導の徹底に努める。
 - ・子どもの体調不良や欠席・遅刻などの日常的な心身の健康状態を把握し、感染症や心の健康課題などの心身の変化について早期発見・早期対応を図る
- (3) 人権・同和教育の充実
 - ・他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性を育む。
 - ・差別に対する認識を深め、力を合わせて解決していく実践力を養う。
 - ・人権・同和教育の研修を一層充実する。

(4) 生活習慣と規律 (生徒指導) の確立

- ・全職員で生徒の基本的な生活習慣の確立を目指し、授業の規律を確保する。
- ・生徒との心の触れ合いを大切にされた相談活動を重視し、生徒理解に努め生徒との信頼関係を深める。
- ・いじめや暴力行為等に関するきまりや対応の基準を明確化し、保護者等に理解と協力を得る。
- ・家庭、地域、関係機関との連携を深め、きめ細やかな指導を行う。
- ・施設、設備の充実と活用を行うとともに、清掃の徹底により学校の美化に努める。

(5) 不登校問題の解消

- ・定期的に担任が家庭に連絡を取り、生徒の状況を把握する。
- ・子ども支援センター等の外部機関との連携を図る。

(6) 学校評価

- ・自己評価、外部評価を行い、その結果に基づき問題点を的確に把握し改善に努める。

(7) その他

- ・長期休業中に実施する研修会を外部講師等を招くなどして充実を図る。
- ・校区内小学校との連携と情報交換を積極的に行う。

平成23年度学校運営計画書

学校名 河北中学校 校長名 家崎豊和 作成日 平成23年4月30日

学校教育目標

【正しく判断し ねばり強く実践する
心豊かでたくましい生徒の育成】

育てたい子ども像
生徒が通いたくなる
学校

地域・保護者・学校間の連携
保護者が通わせたい学校

教師力・組織力の向上
教職員が勤めたい学校

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
本年度の重点目標	<p>情報を積極的に発信する。</p> <p>保護者との信頼関係をさらに強化する。</p> <p>地域から信頼される学校づくりにつとめる。</p>	<p>きめ細かな生徒指導に心がけるとともに校内体制のさらなる充実を図り、全教職員で取り組む。</p> <p>朝の読書タイムを実施するとともに「うちどく」の推進を図る。</p>	<p>学習規律の強化を図る。</p> <p>授業時数の確保</p> <p>指導方法の工夫改善を図り、基礎学力の充実に努める。</p>
目標達成に向けた具体的方策	<p>学校だより、学年だより、保健だより、生徒指導だより等の各種の通信を発行し、教育活動を積極的に発信する。</p> <p>気になる生徒、長欠生に対して、きめ細かく家庭連絡・家庭訪問をおこなう。</p> <p>校区内の巡視と校区内の小学校との連携と情報交換をおこなう。</p>	<p>毎月定例の生徒指導委員会、いじめ不登校委員会などでの情報交換をきめ細かくおこなうとともに対応の共通理解を図る。</p> <p>外部講師の活用を図る。(交通指導・性教育等の特設授業の実施)</p> <p>朝の読書タイムの時間の確保や図書の実践に努める。</p>	<p>チャイムが鳴ると同時に授業を開始する。</p> <p>行事等の精選に努め、授業時数の確保に努める。</p> <p>TT指導(1年生の英語科と2年生の数学科)を活用するとともに基礎学力の充実のため、継続指導をおこなう。</p> <p>長期休業中に希望者を対象とした補習を行う。</p>